位置保持設備用アンカーに関する事項

改正規則等

鋼船規則 L 編
鋼船規則検査要領 L 編
船用材料・機器等の承認及び認定要領

改正事項

位置保持設備用アンカーに関する事項

改正理由

近年、海底資源や再生可能エネルギーの有効活用に向けた取り組みが注目される中、FPSO、掘削リグ、作業船、風力発電設備等の海洋構造物を利用した海洋開発事業が積極的に進められている。

これらの海洋構造物では、短期間、一定の海域で作業を行う作業船や移動を伴う掘削リグ等又は、長期間、一定の海域に位置保持される FPSO や浮体式洋上風力発電設備等の係留の為に、操業海域の定められた位置に浮体施設を保持する為の位置保持設備が備えられている。これらの位置保持設備については、比較的大きな把駐力が求められることがある為、船舶に使用されるような鋳鋼製アンカーに加え、大型の溶接構造型のアンカーを使用した係留方法が適用される場合がある。このような背景を受け、これらの海洋構造物の位置保持設備に用いられるアンカーについて、製造中の試験及び検査に関する要件を規定した。

加えて、5年以下の期間、定位置に係留されるアンカーを対象に、製造法承認に関する要件を定めると共に、5年を超える期間、定位置に係留されるアンカーには、前述の製造法承認試験の要件に加え、操業海域特有の土質や環境条件の影響を考慮した把駐力や疲労強度、構造強度に関する要件を含めた承認要領を別途規定した。

改正内容

- (1) 位置保持設備に用いられるアンカーについて、製造中の試験及び検査の要件を規定した。
- (2) 5年以下の期間、定位置に係留される位置保持設備に用いられるアンカーについて、製造法承認時の試験及び検査に関する要件を規定した。
- (3) 5年を超える期間、定位置に係留される位置保持設備に用いられるアンカーについては、前(2)の製造法承認時の要件に、追加の要件を含めた承認に関する要件を別途規定した。